

解説集 全国テスト7

問 1

【調査について】

調査員の役割として、不適切なものはどれですか。

回答	【解説】
<input type="radio"/> 基本調査項目の選択の確定など、一次判定のすべての責任を負う	【一次判定の確定について】 認定調査については、認定調査員が一次判定のすべての責任を負うということではありません。基本調査項目の定義にうまく当てはまらない場合や、実際に行われている介助の方法の適切さについて検討する場合、慎重な判断が求められます。こうした場合、選択に迷う状況等を特記事項に記載し、介護認定審査会の判断を仰ぐことが調査の標準化に資する適切な対処方法です。
<input type="checkbox"/> 申請者の状況を極力正確に審査会に伝達する	
<input type="checkbox"/> 基本調査項目の選択で迷う場合は、特記事項に記載する	

問 2

【介助の方法】

介助されていない状態や実際に行われている介助が、対象者にとって不適切であるとの判断を一次判定で修正・確定するのは、() の役割である。

回答	【解説】
<input type="checkbox"/> 認定調査員	【一次判定の確定について】 一次判定の修正・確定は介護認定審査会の役割です。介護認定審査会は、認定調査員から提示された特記事項（及び主治医意見書）の内容から、基本調査項目の選択が適切に行われているか確認を行い、これを承認することで一次判定が確定します。
<input type="checkbox"/> 介護認定審査会事務局	
<input checked="" type="radio"/> 介護認定審査会	

問 3

【認知症高齢者の日常生活自立度】

日常生活に支障を来たす行動が家庭外で見られるが、誰かが注意していれば自立している。この場合のランクはどれにあたりますか。

回答	【解説】
<input type="checkbox"/> I	【認知症高齢者の日常生活自立度】 日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる場合で、家庭外でそうした症状が見られる場合はⅡaを、家庭内でもそうした症状が見られる場合はⅡbを選択します。
<input checked="" type="radio"/> Ⅱa	
<input type="checkbox"/> Ⅲa	

問 4

【要介護認定の基本設計】

各基本調査項目の定義にうまく当てはまらないなど判断に迷う際の基本調査の選択としてもっとも適切なものはどれですか。

回答		【解説】
<input type="radio"/>	各基本調査項目の定義等に基づき選択する	【判断に迷う場合】 申請者の状態は様々であるため、各調査項目の定義にうまく当てはまらない場合もあります。基本調査はテキストの定義に基づき選択し、必要な情報は特記事項に記載します。
	介護の手間がよりかかる方、状態が悪い方で選択する	
	迷った状況の特記事項に記載し、選択は空欄のままにしておく	

問 5

【能力】 () に当てはまる言葉を選んでください。

実際に施行した結果と日頃の状況が異なる場合は、基本調査で「一定期間」() の状況において、より頻回に見られる状況に基づき選択する。

回答		【解説】
<input type="radio"/>	調査日より概ね過去 1 週間	【頻回について】 実際に施行した結果と日頃の状況が異なる場合は、一定期間（調査日より概ね過去 1 週間）の状況において、より頻回に見られる状況に基づいて選択します。 なお、BPSD 関連を評価する基本調査項目については、一定期間（調査日より概ね過去 1 か月間）の状況において、それらの行動がどの程度発生しているのかについて、頻度に基づき選択します。
	調査日より概ね過去 2 週間	
	調査日より概ね過去 1 か月	

問 6

【有無（BPSD 関連）】 () に当てはまる言葉を選んでください。

BPSD 関連の基本調査項目では、() が発生しているかどうかで選択する。

回答		【解説】
<input type="radio"/>	行動	【基本調査について】 BPSD 関連の基本調査項目は、過去 1 か月間の状況から、現在の環境でその行動が現れたかどうかに基づいて選択します。 一定期間（調査日より概ね過去 1 か月間）の状況において、それらの行動がどの程度発生しているのかについて、頻度に基づき選択します。
	介護の手間	
	日常生活上の支障	

問 7

【評価軸】正しければ○、誤っていれば×を選択してください。

「麻痺等」「寝返り」「歩行」「洗身」「つめ切り」など『1群』はすべて能力で評価する基本調査項目である。	
回答	【解説】
<input type="radio"/>	○
<input checked="" type="radio"/>	×
【3つの評価軸について】 1群の「麻痺等」「拘縮」は“有無”、「洗身」「つめ切り」は“介助の方法”で、その他の調査項目はすべて”能力”で評価する基本調査項目です。	

問 8

【要介護認定の基本設計】

認定調査票の特記事項は、どのような時に利用されますか。	
回答	【解説】
<input type="radio"/>	一次判定の修正・確定
<input checked="" type="radio"/>	一次判定の修正・確定と二次判定
<input type="radio"/>	二次判定
【特記事項について】 介護認定審査会において、特記事項は、「基本調査（選択根拠）の確認」と「介護の手間の判断」という2つの視点から活用されます。 それぞれの目的を果たすため、「 選択根拠 」「 手間 」「 頻度 」の3つのポイントに留意しつつ、特記事項に記載します。	

問 9

【要介護認定の基本設計】

一次判定の確定（基本調査項目の選択の確定等）は、誰またはどの機関の役割ですか。	
回答	【解説】
<input type="radio"/>	認定調査員
<input type="radio"/>	介護認定審査会事務局
<input checked="" type="radio"/>	介護認定審査会
【一次判定の確定について】 一次判定の修正・確定は介護認定審査会の役割です。介護認定審査会は、認定調査員から提示された特記事項（及び主治医意見書）の内容から、基本調査項目の選択が適切に行われているか確認等を行い、これを承認することで一次判定が確定します。	

問 10

【3-6 今の季節を理解する】基本調査で、どの選択肢を選択すればよいですか。

今の季節を答えることはできないが、調査当日の月日は答えることができた。	
回答	【解説】
<input type="radio"/>	できる
<input checked="" type="radio"/>	できない
【調査上の留意点】 「今の季節を理解」とは、 <u>面接調査日の季節を答えることで、月日を答えることではありません。</u>	

問 11

【1-7 歩行】基本調査で、どの選択肢を選択すればよいですか。

5m程度継続して歩けるが、認知症があり目的の場所に辿り着けないことがあるため、介護者が手を引いて案内している。

回答		【解説】
<input type="radio"/>	つかまらないでできる	【歩行の選択基準】 立った状態から継続して5m程度歩ける”能力”があるかどうかで選択します。 歩幅や速度、方向感覚や目的等は問いません。
	何かにつかまればできる	
	できない	

問 12

【2-3 えん下】

「見守り等」の選択基準として、正しいのはどれですか。

回答		【解説】
	実際に見守りが行われていることを必須とする	【えん下の選択基準】 「えん下」とは、食物を経口より摂取する際の「えん下」（飲み込むこと）の能力です。 「えん下」における「見守り等」は、「できる」「できない」のいずれにも含まれない場合をいいます。必ずしも見守りが行われている必要はありません。
	いつも「声かけ」行っているので「見守り等」を選択した	
<input type="radio"/>	「できる」、「できない」いずれにも含まれないと考えられたので「見守り等」を選択した	

問 13

【5-3 日常の意思決定】基本調査で、どの選択肢を選択すればよいですか。

日常生活状況のもとでも、意思決定がほとんどできないが、見たいテレビ番組やその日の献立に関する意思決定をすることがある。

回答		【解説】
	特別な場合を除いてできる	【日常の意思決定の選択基準】 慣れ親しんだ日常生活状況のもとでも、意思決定がほとんどできないが、見たいテレビ番組やその日の献立、着る服の選択等に関する意思決定をすることがある場合は、「日常的に困難」を選択します。
<input type="radio"/>	日常的に困難	
	できない	

問 14

【1-9 片足での立位】基本調査で、どの選択肢を選択すればよいですか。

自分の手で支えるのではなく、介護者によって支えられた状態でなければ片足を上げられない。

回答	【解説】
<input type="checkbox"/> 支えなしでできる	【片足での立位の選択基準】 自分では片足が上げられない、自分の手で支えるのではなく、介護者によって支えられた状態でなければ片足を上げられない、あるいは、どのような状況であってもまったく片足で立っていることができない場合、「できない」を選択します。
<input type="checkbox"/> 何か支えがあればできる	
<input checked="" type="radio"/> できない	

問 15

【1-6 両足での立位保持】基本調査で、どの選択肢を選択すればよいですか。

調査時には、平らな床の上で立位を 10 秒間程度何にもつかまらないで保持できたが、家族の話では、日頃はできないことが多い。

回答	【解説】
<input type="checkbox"/> つかまらないでできる	【実際に行ってもらった状況と、日頃の状況とが異なる場合】 基本調査では、一定期間（調査日より概ね過去 1 週間）の状況において、より頻回に見られる状況に基づき選択を行います。 また、特記事項に、実際に行ってもらった状況と、日頃の状況との違いなど、具体的な内容を記載します。
<input type="checkbox"/> 何かにつかまればできる	
<input checked="" type="radio"/> できない	

問 16

【1-4 起き上がり】

福祉用具（補装具や介護用品等）や器具類を使用している場合の評価について、誤っているものはどれですか。

回答	【解説】
<input checked="" type="radio"/> ギャッチアップ機能がある電動ベッドの場合は、この機能を使って評価する	【福祉用具を使用している場合】 福祉用具を使用している状況で基本調査項目の選択肢を選択します。 なお、ギャッチアップ機能がついている電動ベッド等の場合はこれらの機能を使わない状態で評価します。 ただし、常時、ギャッチアップの状態にある場合は、その状態から評価します。
<input type="checkbox"/> 補装具を使用している場合は、使用している状態で評価する	
<input type="checkbox"/> 常時ギャッチアップの状態にある場合は、その状態から評価する	

問 17

【5-2 金銭の管理】

手元に現金等を所持していない場合の考え方について、正しいものはどれですか。（ただし、不適切な状況にはないものとします。）

回答		【解説】
<input type="radio"/>	年金、預貯金、各種給付等の管理の状況で選択する	【調査対象の行為が発生していない場合】 手元に現金等を所持していない場合でも、年金、預貯金、各種給付（老齢福祉年金・生活保護費）等の管理の状況で選択します。
	定義で規定される行為を想定して、適切な介助の方法を選択する	
	管理する金銭がないため、「介助されていない」を選択する	

問 18

【2-7 口腔清潔】

「介護者が歯を磨いてあげ、口元にコップを運び、本人が口をすすいで吐き出す」場合、基本調査ではどれを選択しますか。（ただし、不適切な状況にはないものとします。）

回答		【解説】
<input type="radio"/>	全介助	【口腔清潔の選択基準】 介護者が歯を磨いてあげ、口元までコップを運び、本人は口をすすいで吐き出す行為だけができる場合は、「全介助」を選択します。
	介助されていない	
	一部介助	

問 19

【1-10 洗身】基本調査で、どの選択肢を選択すればよいですか。

自分で洗身を行っているが、介護者による見守りが行われている。（ただし、不適切な状況にはないものとします。）

回答		【解説】
	全介助	【洗身の選択基準】 介護者が石鹸等を付けて、体の一部を洗う等の場合や、見守り等が行われている場合は、「一部介助」を選択します。
	介助されていない	
<input type="radio"/>	一部介助	

問 20

【2-5 排尿】基本調査で、どの選択肢を選択すればよいですか。

1日の中で、昼間に6回程度、介助なくトイレで排尿している。夜間の2回程度は、ポータブルトイレを利用して介助なく排尿しているが、ポータブルトイレの後片付けは家族が朝一括して行っている。(ただし、不適切な状況にはないものとします。)

回答		【解説】
	見守り等	【調査上の留意点】 基本調査では、一定期間（調査日より概ね過去1週間）の状況において、より頻回な状況に基づき選択を行います。なお、使用したポータブルトイレの後始末を一括して行う場合は、排尿の直後であるかどうかや、その回数に関わらず「排尿後の後始末」として評価します。
<input checked="" type="radio"/>	介助されていない	
	一部介助	

問 21

【2-5 排尿】基本調査で、どの選択肢を選択すればよいですか。

トイレへの移動、トイレ内での行為には、見守りも介助も行われていないものの、認知症のためトイレに行くタイミングを自分で把握できないことがあるため、定時の声かけを行っている。(ただし、不適切な状況にはないものとします。)

回答		【解説】
<input type="radio"/>	見守り等	【排尿の選択基準】 「見守り等」とは、常時の付き添いの必要がある「見守り」「確認」「指示」「声かけ」や、認知症高齢者等をトイレ等へ誘導するために必要な「確認」「指示」「声かけ」等のことです。
	介助されていない	
	一部介助	

問 22

【5-1 薬の内服】

薬の内服がない（処方されていない）場合について、正しいものはどれですか。(ただし、不適切な状況にはないものとします。)

回答		【解説】
	薬剤が処方された場合を想定して、本人の能力で選択する	【調査対象の行為が発生していない場合】 薬の内服がない（処方されていない）場合は、薬剤が処方された場合を想定し、適切な介助の方法を選択した上で、そのように判断できる具体的な事実を特記事項に記載します。
<input checked="" type="radio"/>	薬剤が処方された場合を想定して、適切な介助の方法を選択する	
	介助が発生しないので、「介助されていない」を選択する	

問 23

【2-4 食事摂取】基本調査で、どの選択肢を選択すればよいですか。

1日3食で、通常は介助なしで行っている。ただし、毎日朝食の際は、最初の数口は、介護者が口まで食事を運んでいる。(ただし、不適切な状況にはないものとします。)

回答		【解説】
	見守り等	【頻回について】 基本調査は、一定期間（調査日より概ね過去 1 週間）の状況において、より頻回な状況や日頃の状況で選択します。 特記事項には、その日頃の状況や介護の手間等について、具体的な内容を記載します。
<input type="radio"/>	介助されていない	
	一部介助	

問 24

【1-1 麻痺等の有無】（ ）に当てはまる言葉を選んでください。

座位による上肢の麻痺等の確認動作で（ ）できなければ「麻痺あり」とする。

回答		【解説】
	前方・横ともに	【上肢の麻痺等の確認動作】 座位の場合は、肘関節を伸ばしたままで腕を前方及び横に、自分で持ち上げ、静止した状態で保持できるかどうかを確認します。どちらかができなければ「あり」とします。
<input type="radio"/>	前方もしくは横のどちらかが	

問 25

【4-12 ひどい物忘れ】

「ひどい物忘れ」の基本調査の選択基準について、誤っているのはどれですか。

回答		【解説】
<input type="radio"/>	電話の伝言をし忘れるといったような、単なる物忘れも含まれる	【ひどい物忘れの定義】 「ひどい物忘れ」行動の頻度を評価します。この物忘れによって、何らかの行動が起こっているか、周囲の者が何らかの対応をとらなければならないような状況（火の不始末など）のことです。 電話の伝言をし忘れるといったような、単なる物忘れは含まれません。
	「ひどい物忘れ」によって周囲の者が何らかの対応をとらなければならない状況（火の不始末）が含まれる	
	寝たきりで、認知症もあるが、意思疎通もできないので、「ない」を選択した	

問 26

【2-12 外出頻度】

外出頻度の基本調査項目の選択で、評価するものはどれですか。

回答		【解説】
<input type="radio"/>	本人ひとりでの外出	【外出頻度の定義】 基本調査では、1 回概ね 30 分以上、居住地の敷地外へ出る頻度を評価します。 外出の目的や、同行者の有無、目的地等は問いません。
	10 分間の外出	
	徘徊	

問 27

【過去 14 日間にうけた特別な医療（経管栄養）】

「経管栄養」について、誤っているのはどれですか。

回答		【解説】
	一部経口摂取が可能である場合も、経管栄養が行われている場合も含まれる	【特別な医療の定義（経管栄養）】 「経管栄養」は、栄養の摂取方法として、経管栄養が行われているかどうかを評価します。栄養は中心静脈栄養で摂取し、投薬目的で胃管が留置されている場合は該当しません。
<input checked="" type="radio"/>	投薬目的で胃管を留置している場合も含まれる	
	経口、経鼻、胃ろうであるかは問わない	

問 28

【過去 14 日間にうけた特別な医療（点滴の管理）】

末期ガン患者の方で、疼痛の看護目的で点滴が継続実施されている場合の選択肢の選択として、正しいものはどれですか。

回答		【解説】
	「点滴の管理」を選択する	【特別な医療の選択基準】 「疼痛の看護」で「点滴」が用いられ、本項目の定義に従って管理がなされている場合は、両方とも選択します。
	「疼痛の看護」を選択する	
<input checked="" type="radio"/>	「点滴の管理」と「疼痛の看護」両方を選択する	

問 29

【4-1 被害的】

物をとられたと被害的になることが週 1、2 回あるが、特に対応はとっていない場合、基本調査ではどれを選択しますか。

回答		【解説】
<input type="radio"/>	ある	<p>【基本調査について】 BPSD 関連の基本調査項目は、過去 1 か月間の状況から、現在の環境でその行動が現れたかどうかに基づいて選択します。これらの行動に対して、特に周囲が対応をとっていない場合や介護の手間が発生していなくても、各項目に規定されている行動が現れている場合は、頻度に基づき選択します。 BPSD 関連の有無だけでは、介護の手間が発生しているかどうかは必ずしも判断できないため、二次判定で介護の手間を適切に評価するためには、特記事項に、それらの有無によって発生している介護の手間を、頻度も合わせて記載する必要があります。</p>
	ときどきある	
	ない	

問 30

【4-6 大声を出す】

「大声を出す」の特記事項の記載について、最も重要なものはどれですか。

回答		【解説】
	大声で言っていることの具体的な内容を記載する	<p>【調査上の留意点】 BPSD 関連の基本調査項目は、過去 1 か月間の状況から、現在の環境でその行動が現れたかどうかに基づいて選択します。 BPSD 関連の基本調査項目は、その有無だけで介護の手間が発生しているかどうかは必ずしも判断できないため、二次判定で介護の手間を適切に評価するためには、特記事項に、それらの有無によって発生している介護の手間を、頻度も合わせて記載する必要があります。また、介護者が特に対応をとっていない場合などについても特記事項に記載します。</p>
	日常生活上の支障を記載する	
<input checked="" type="radio"/>	介護の手間と頻度を記載する	